

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2013年 3 月 12日

（報告先）  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号  
みなとみらいグランドセントラルタワー7階

氏名 代表取締役社長 吉川 俊雄

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	横浜冷凍株式会社 代表取締役社長 吉川 俊雄				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号 みなとみらいグランドセントラルタワー7階				
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業			
	中分類	47 倉庫業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,996	k l	自動車の台数	台

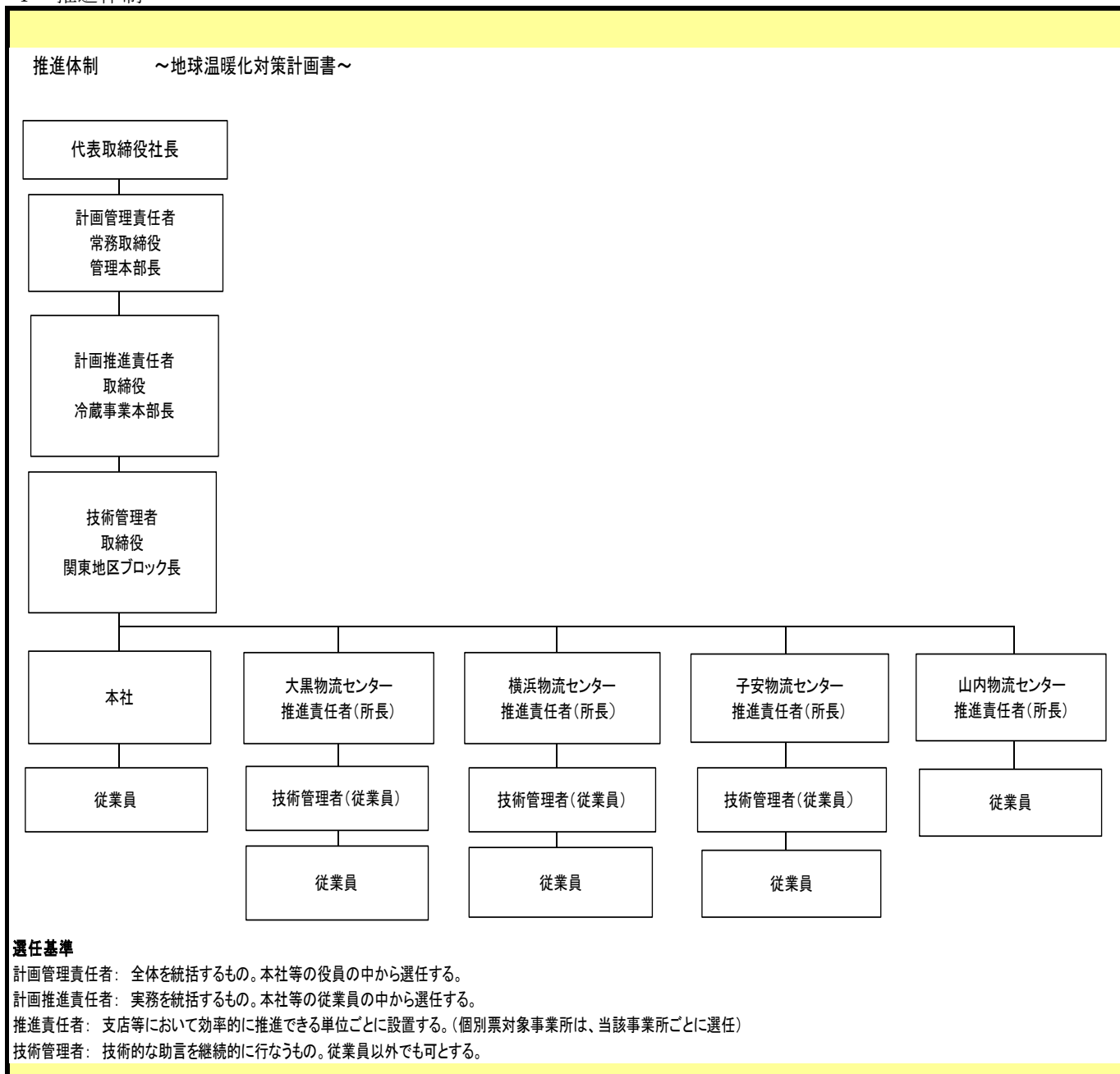
### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	平成22年度	～	平成24年度	実施年度	平成23年度
------	--------	---	--------	------	--------

### 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ①環境保全に関連する法令、条例、協定等を遵守します。
- ②基本方針に沿った行動計画を作成、推進、改善することにより、環境管理体制の維持に努めます。
- ③環境教育・社内広報を通じて、社員一人一人の環境保全に対する理解と意識の向上に努めます。
- ④施設・設備の定期的な保守点検を実施し、性能の維持に努めます。
- ⑤省エネ機器・車輛を計画的に導入し、消費資源の節約を目指します。
- ⑥廃棄物の適正処理とリサイクルを推進します。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	<a href="http://www.yokorei.co.jp/sustainability/environment/index.html">http://www.yokorei.co.jp/sustainability/environment/index.html</a>
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (21年度)	基準排出量	4,966	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,950	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (24年度)	目標排出量	4,817	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	弊社では、全社のエネルギー使用量の99%を冷蔵倉庫が占めている。そこで全国の冷蔵倉庫(38箇所)を対象に平成19年10月よりグリーン経営の導入の検討を開始し、平成22年8月には全冷蔵倉庫で認証を取得しました。横浜市内の4つの冷蔵倉庫は、平成20年11月に認証を取得し、平成22年11月に更新を完了しています。グリーン経営の取り組みとしてエネルギー使用量原単位1%削減という目標を設定し、対策に取り組んでおり平成22年から24年度も継続する。							
事業者全体としての目標等								
第一年度 (22年度)	排出量	4,914	t-CO <sub>2</sub>	削減率	1.0 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,819	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.3 %		削減率	▲ 0.5 %
目標等の達成状況及び説明	CO2年間1%の削減という計画を立てましたが、平成22年度は全体としては概ね達成できませんでした。夏季が記録的な猛暑であったため、ドックシェルター設備の無い子安物流センターは外気温の影響をまともに受けたため、冷凍機の運転時間が延び結果としてCO2の排出量が増えてしまいました。							
第二年度 (23年度)	排出量	4,999	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 0.7 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	4,476	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 13.3 %		削減率	9.2 %
目標等の達成状況及び説明	CO2年間1%の削減という計画に対し平成23年度は基準年度より+0.7%の排出量増加となりました。個別では大黒物流センターが9.2%の削減となっていました。横浜物流センター+3.4%子安物流センターが+5.8%の増加となっています。本年度は昨年度より在庫が子安物流センターを除き10%以上増加した為、業務の煩雑化により各事業所冷凍機運転時間が増加、結果としてCO2排出量の排出量も増加となってしまいました。							
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 ( )年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 ( )年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 ( )年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 ( )年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 ( )年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上	0		0					
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0		0					
500k l 以上 1,500k l 未満	3	4,178	3	4,009	3	4,134		
500k l 未満	3	788	3	905	3	865		
合計	6	4,966	6	4,914	6	4,999		

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9 重点対策の実施状況

		基準年度	第一年度	第二年度	第三年度	備考
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	実施中	実施中	実施済	平成20年10月にグリーン経営認証取得時に整備済。
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	未実施	実施中	実施中	4事業所で済
	3	機器管理台帳の整備	未実施	未実施	実施済	平成20年10月にグリーン経営認証取得時に整備 山内(物)・大黒(物)・横浜(物)・子安(物)、4事業所。
	4	照明設備の運用管理	未実施	実施中	実施中	グリーン経営認証基準にて実施中、4事業所H24年度予定。
	5	エネルギー使用量の把握	実施中	実施中	実施済	グリーン経営認証基準にて実施、4事業所。
	6	各種図面の整備	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
	7	外気導入量の適正管理	非該当	非該当	非該当	事務所の床面積が3,000㎡未満の為
	8	フィルター等の清掃	実施中	実施中	実施済	グリーン経営認証基準にて実施中、4事業所。
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	実施中	未実施	非該当	該当設備無し。
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	未実施	未実施	実施中	平成24年度中。
	11	室内温度の適正管理	実施中	実施中	実施中	平成19年に山内(物)・子安(物)、平成20年に大黒(物)に入替。横浜(物)は新設時に導入。4事業所 横浜一部H24年度中実施予定。
	12	地下駐車場の換気管理	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
	13	照明設備の高効率化	実施中	実施中	実施中	平成19年に山内(物)・子安(物)、平成20年に大黒(物)に入替。横浜(物)は新設時に導入。4事業所 横浜一部H24年度中実施予定。
	14	事務所機器の待機電力管理	実施中	実施中	実施中	平成24年度中。
	15	機器性能管理	未実施	未実施	非該当	該当設備無し。
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	未実施	未実施	非該当	該当設備無し。
	17	燃焼設備の空気比管理	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
	18	排出ガス温度の管理	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
	20	工業炉表面の断熱強化	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
	22	コンプレッサの吸気管理	非該当	非該当	非該当	該当設備無し。
第3号該当事業者	23	推進体制の整備				
	24	自動車の適正な使用管理				
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理				
	26	エコドライブ推進体制の整備				
	27	自動車の適正な維持管理				

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	太陽光発電設備	平成18年度	100kW 年間発電量約104千kWh (2010)	横浜物流センター
2				
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成23年度	横浜市内の事業所から排出される排出量の一部	523	東京電力
2					
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 実施状況等に対する自己評価

基準年度の前年である平成20年度末までに横浜市内の事業所、特にエネルギー消費の大半を占める冷蔵倉庫においては省エネ設備の導入が一応完了しています。山内物流センター・子安物流センター・大黒物流センターにおいては高効率蛍光灯を導入し、年間約85t、横浜物流センターにおいては太陽光発電設備を導入し、年間約42tのCO2を削減しております。計画期間中に大規模な設備の更新予定はないので、目標の年1%削減という目標は厳しいかもしれませんが、グリーン経営認証でも掲げている目標でもあるので、設備の運用面で努力してクリアできるように努力したい。

## 地球温暖化対策実施状況報告書

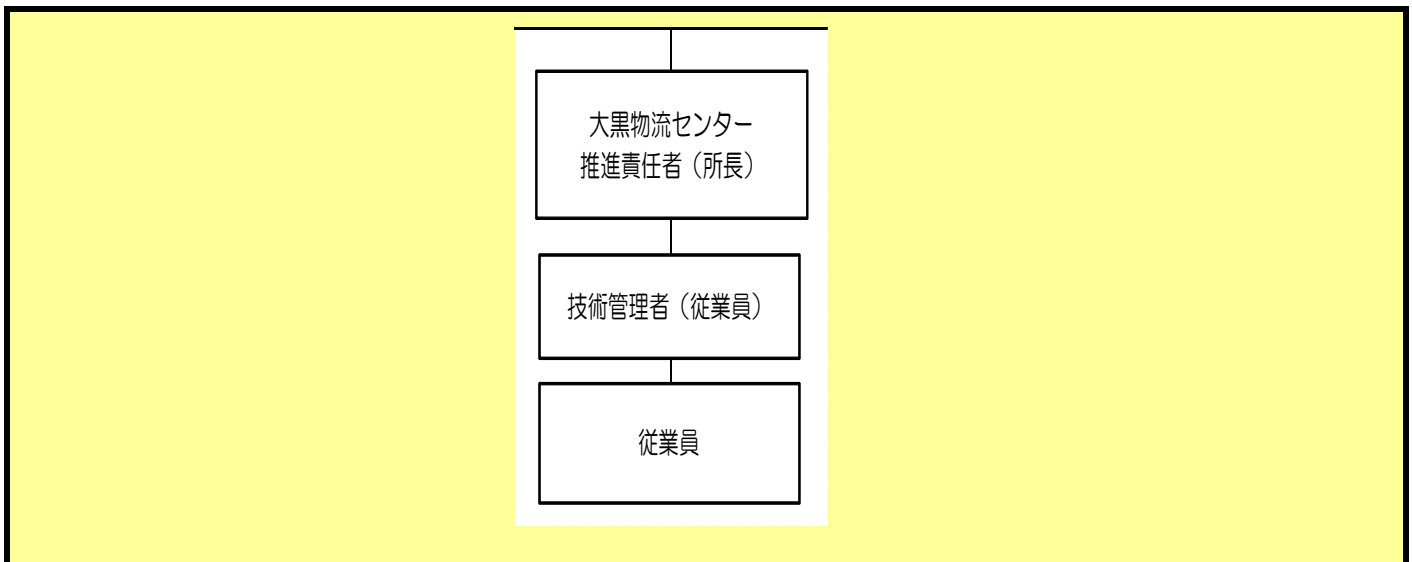
### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	大黒物流センター					
事業所等の所在地	神奈川県横浜市鶴見区大黒ふ頭15-1					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	25,584	㎡	原油換算エネルギー使用量	904	k l
	事業所等の区分	倉庫		所有形態	所有（オーナー）	
	エネルギー管理権原	全て有り		使用形態	全て使用	
	事業所においてエネルギー使用状況表を毎月作成し、エネルギーの使用状況について管理している。					

### 2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ①環境保全に関連する法令、条例、協定等を遵守します。
- ②基本方針に沿った行動計画を作成、推進、改善することにより、環境管理体制の維持に努めます。
- ③環境教育・社内広報を通じて、社員一人一人の環境保全に対する理解と意識の向上に努めます。
- ④施設・設備の定期的な保守点検を実施し、性能の維持に努めます。
- ⑤省エネ機器・車輛を計画的に導入し、消費資源の節約を目指します。
- ⑥廃棄物の適正処理とリサイクルを推進します。

### 3 推進体制





細則第38号様式（第2条第49号）  
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (21年度)	基準排出量	1,654	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (24年度)	目標排出量	1,604	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	弊社では、全社のエネルギー使用量の99%を冷蔵倉庫が占めている。そこで全国の冷蔵倉庫（38箇所）を対象に平成19年10月よりグリーン経営の導入の検討を開始し、平成22年8月には全冷蔵倉庫で認証を取得しました。横浜市内の4つの冷蔵倉庫は、平成20年11月に認証を取得し、平成22年11月に更新を完了しています。グリーン経営の取り組みとしてエネルギー使用量原単位1%削減という目標を設定し、対策に取り組んでおり平成22年から24年度も継続する。						
事業者全体としての目標等							
第一年度 (22年度)	排出量	1,450	t-CO <sub>2</sub>	削減率	12.3 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
目標等の達成状況及び説明	CO2排出量の削減理由としては、冷蔵倉庫の温度管理の徹底を行いました。各庫内の温度状況を把握し、冷凍機の運転時間を管理しました。また、庫内ヘアピンコイルのデフロスト作業を徹底的に行うことで、コイルの冷却効率が上がり、庫内温度低下に繋がり、冷凍機運転時間の大幅な削減にも繋がっております。						
第二年度 (23年度)	排出量	1,502	t-CO <sub>2</sub>	削減率	9.2 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
目標等の達成状況及び説明	目標CO2排出量の削減理由としては、昨年度に引き続き倉庫温度管理を徹底しました。第一年度との比較で増加理由としましては、冷蔵倉庫の在庫・貨物扱い量が増加したことにより、冷凍機運転時間が増加し、電気使用量が前年比3.5%増加しました。しかし、倉庫在庫量が増加した事により、増加した貨物が蓄冷剤替わりとなり、時期によっては冷凍機の運転時間及び、電気使用量を削減する事ができております。						
第三年度 ( 年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							

## 地球温暖化対策実施状況報告書

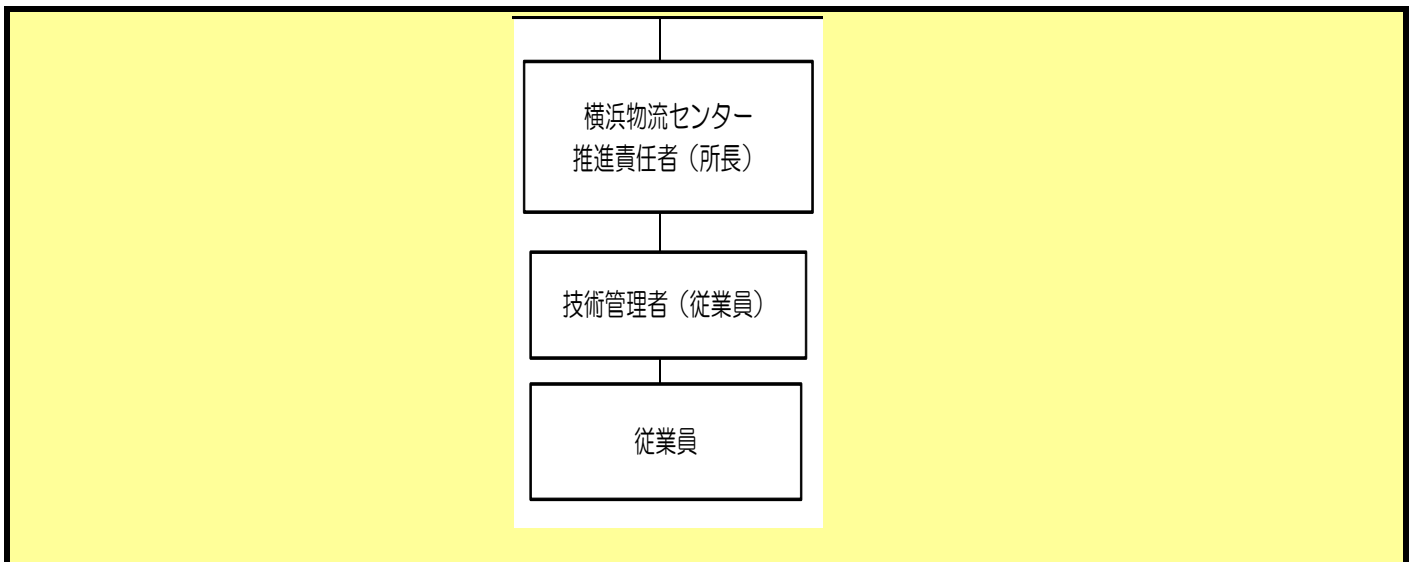
### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	横浜物流センター					
事業所等の所在地	神奈川県横浜市鶴見区大黒町5-35					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	20,720	㎡	原油換算エネルギー使用量	1,009	k l
	事業所等の区分	倉庫		所有形態	所有（オーナー）	
	エネルギー管理権原	全て有り		使用形態	全て使用	
	事業所においてエネルギー使用状況表を毎月作成し、エネルギーの使用状況について管理している。					

### 2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ①環境保全に関連する法令、条例、協定等を遵守します。
- ②基本方針に沿った行動計画を作成、推進、改善することにより、環境管理体制の維持に努めます。
- ③環境教育・社内広報を通じて、社員一人一人の環境保全に対する理解と意識の向上に努めます。
- ④施設・設備の定期的な保守点検を実施し、性能の維持に努めます。
- ⑤省エネ機器・車輛を計画的に導入し、消費資源の節約を目指します。
- ⑥廃棄物の適正処理とリサイクルを推進します。

### 3 推進体制



細則第38号様式（第2条第49号）  
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (21年度)	基準排出量	1,631	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (24年度)	目標排出量	1,582	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	弊社では、全社のエネルギー使用量の99%を冷蔵倉庫が占めている。そこで全国の冷蔵倉庫（38箇所）を対象に平成19年10月よりグリーン経営の導入の検討を開始し、平成22年8月には全冷蔵倉庫で認証を取得しました。横浜市内の4つの冷蔵倉庫は、平成20年11月に認証を取得し、平成22年11月に更新を完了しています。グリーン経営の取り組みとしてエネルギー使用量原単位1%削減という目標を設定し、対策に取り組んでおり平成22年から24年度も継続する。						
事業者全体としての目標等							
第一年度 (22年度)	排出量	1,608	t-CO <sub>2</sub>	削減率	1.4 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
目標等の達成状況及び説明	平成22年度は平成21年度（基準年度）に対し1.4%のCO <sub>2</sub> 排出量削減となりました。グリーン経営においてエネルギー使用量原単位を把握、効率よくエネルギーを使用（冷却設備の維持・運転管理、不要照明の消灯、フォークリフトの不要な充電をしない、アイドリングストップ等）する事により事業所のエネルギー使用量の総量も削減されています。						
第二年度 (23年度)	排出量	1,687	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲3.4 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
目標等の達成状況及び説明	目標CO <sub>2</sub> 排出量の削減としては、昨年度に引き続き倉庫温度管理を徹底しました。増加理由としましては、冷蔵倉庫の在庫及び貨物扱い量が増加したことにより、冷凍機運転時間が増加し、電気使用量が前年比で4.9%増加になった為、削減目標は未達となりました。						
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
							削減率 %
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							

## 地球温暖化対策実施状況報告書

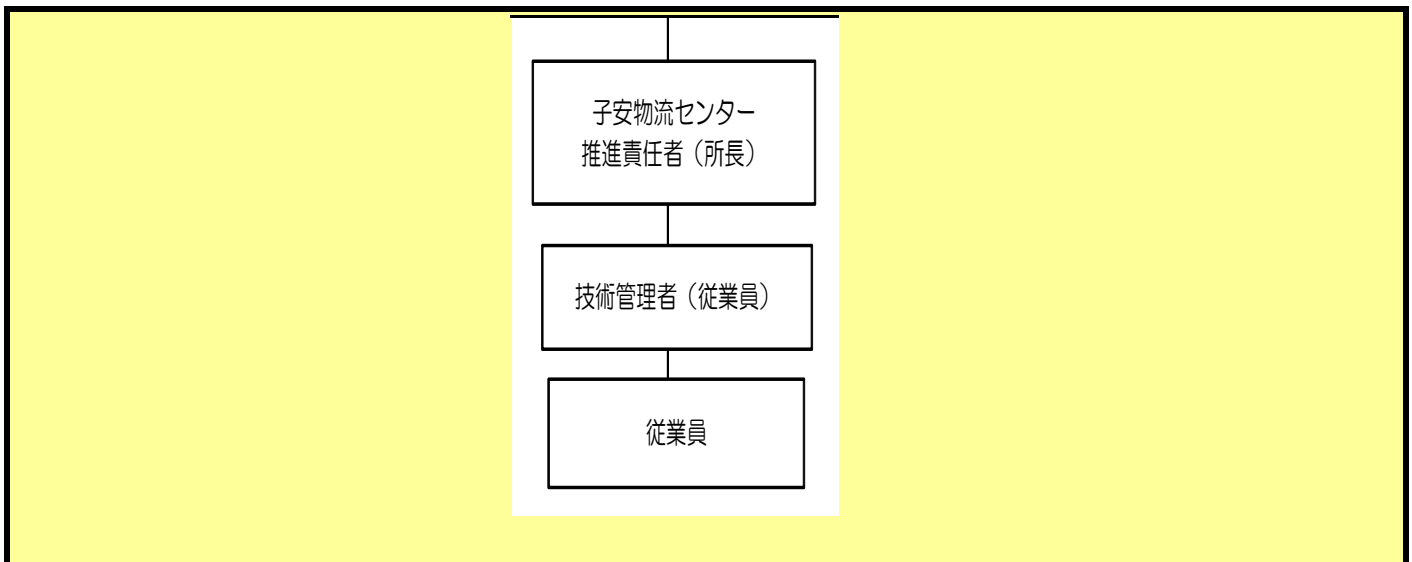
### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	子安物流センター					
事業所等の所在地	神奈川県横浜市神奈川区守屋町1-1-7					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	12,434	㎡	原油換算エネルギー使用量	565	kl
	事業所等の区分	倉庫		所有形態	所有（オーナー）	
	エネルギー管理権原	全て有り		使用形態	全て使用	
	事業所においてエネルギー使用状況表を毎月作成し、エネルギーの使用状況について管理している。					

### 2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ①環境保全に関連する法令、条例、協定等を遵守します。
- ②基本方針に沿った行動計画を作成、推進、改善することにより、環境管理体制の維持に努めます。
- ③環境教育・社内広報を通じて、社員一人一人の環境保全に対する理解と意識の向上に努めます。
- ④施設・設備の定期的な保守点検を実施し、性能の維持に努めます。
- ⑤省エネ機器・車輛を計画的に導入し、消費資源の節約を目指します。
- ⑥廃棄物の適正処理とリサイクルを推進します。

### 3 推進体制



細則第38号様式（第2条第49号）  
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (21年度)	基準排出量	893	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (24年度)	目標排出量	866	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
						削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>弊社では、全社のエネルギー使用量の99%を冷蔵倉庫が占めている。そこで全国の冷蔵倉庫（38箇所）を対象に平成19年10月よりグリーン経営の導入の検討を開始し、平成22年8月には全冷蔵倉庫で認証を取得しました。横浜市内の4つの冷蔵倉庫は、平成20年11月に認証を取得し、平成22年11月に更新を完了しています。グリーン経営の取り組みとしてエネルギー使用量原単位1%削減という目標を設定し、対策に取り組んでおり平成22年から24年度も継続する。</p>						
事業者全体としての目標等							
第一年度 (22年度)	排出量	951	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 6.5 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
						削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>削減率6.5%上昇の理由として、夏場の外気温上昇が考えられると思います。平成22年は、6～9月の平均気温が平成21年同月の平均気温に比べ約2℃高い値でした。当センターではドックシェルターが無く外気の影響をダイレクトに受けてしまったことによる、冷凍機稼働時間の増加が原因であると思われます。</p>						
第二年度 (23年度)	排出量	945	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 5.8 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
						削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>CO2年間削減率1%に対し5.8%上昇の理由として、第一年度目標削減率1.0%に対し6.5%上昇となったことからエネルギー削減を進めていましたが一部冷凍機の改修を行い能力を向上したことによりこの冷却システムの電力負荷が約54KWから130KWと増加、この為電気使用量が増加し第一年度よりは若干の削減となりましたが目標に対しては未達成となりました。</p>						
第三年度 ( 年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
						削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							